

## 釈尊寺町のだんじり 青緑色の目をした眠れる獅子



祭りの日の釈尊寺町のだんじり（2015年ごろ・西川國彦氏提供）



小屋に納められただんじり

だんじりというと、岸和田市のだんじりが全国的に有名ですが、枚方にもだんじりを持っている地域があります。岸和田のだんじりのように走ることはありませんが、地域の秋祭りで、ゆっくり、堂々と曳かれています。だんじりの中には太鼓があり、叩いて鳴らすために人も乗り込みます。神輿みこしと混同されることもあります。神輿は神さまの乗り物とされているので、人は乗りません。だんじりは、本来は、お祭りを賑やかにするために町や村の人たちが出すアトラクションのようなものでした。

さて、過日しやくそんじちよう、釈尊寺町のだんじりを見せていただく機会があり、民俗芸能の研究者でだんじりにも詳しい和歌山大学の吉村旭輝准教授たちと、調査をしましたので、このだんじりについて紹介します。

だんじりを保有するのは、釈尊寺町の旧村で、現在の釈尊寺町南自治会です。村野神社ようはいのだんじり小屋に納められていますが、この遥拝所じよはかつて村の共有地だった場所で、「オミヤサン」と呼ばれていたそうです。だんじりの大きさは、高さ約3.2m、屋根の幅約1.8m、

土台の長さ約3m。旧村が明治20年頃に中宮か御殿山の方から、中古を購入したと伝わるもので、土台と車輪は30～40年前に修理をしましたが、上部は昔のままのこと。

段違いの屋根が2つあり、それぞれの端には牙をむき出し、爪を立てた獅子の顔。屋根下の懸魚は鳳凰。屋根を支える柱の木鼻には獅子や象の彫刻があります。珍しいことに、この獅子と象の目は青緑色をしています。青緑色の正体は緑青で、どうやら目玉は真鍮や銅板などで作られているようです。他のだんじりでよく見かけるものは、半球状のガラスに綿を詰めて白目とし、黒目をガラスに描いた、艶やかで本物のような目玉なのですが、釈尊寺のだんじりの獅子の目が真鍮なら、その目は金色に輝いていたことでしょう。

このだんじりがお目見えしていたのは、10月14日の秋祭り。13日は宵宮で、小屋からだんじりを出して組み立てます。小屋根の下には紫色の幕、土台には白い幕を張り、大屋根正面の柱にあるハナタテには櫛を挿したキオケ（手桶）を白い布でくくり付け、屋根の軒に提灯を飾り付けます。だんじり下の幕の中には太鼓と鐘（半鐘）を置いて、祭りの太鼓を叩きました。釈尊寺の旧村は丘にあるためか、飾り付けただんじりは、村内を曳行するのではなく、遥拝所の敷地を何度も往復させていました。これらを青年会が行っていましたが、昭和40年代に青年会は自然消滅し、近年では各家から一人出て、小屋からだんじりを出して組み立てて飾り付けるだけになっていま

ました。さらにこの5～6年は住民の高齢化と、敷地の土の流出によって小屋と地面の段差が大きくなったことなどにより、だんじりを出すことができなくなっているそうです。

吉村准教授によると、「江戸時代後期に刊行された『摂津名所図会』に描かれるだんじりとよく似た素朴な形態で、江戸時代のもので間違いはないだろう。大阪府下でも古いだんじりのひとつではない



大屋根の彫刻



金属製の目の木鼻の獅子



【参考】ガラス目



柱のハナタテ



ハナタテに置くキオケ

か」とのこと。

釈尊寺の旧村は小さな集落であるにもかかわらず、明治中期にだんじりを購入したことは興味深く、その経緯が明らかになれば、当時の地域経済、人々のだんじりや祭りへの思いや考え方が



【参考】『摂津名所図会』のだんじり（国立国会図書館蔵）



太鼓



鐘(半鐘)

わかるかもしれません。

青緑色の目をした釈尊寺の獅子は、地域のどんな歴史を見てきたのでしょうか。また、寸刻の眠りの中で、どんな夢をみているのでしょうか。

## 文化財 コラム

### 継承すべき文化財を守る

「文化財防火デー」は、昭和24年1月26日、現存する最古の木造建築物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことを契機に制定され、毎年、全国各地で文化財防火運動が開催されています。本市では、令和5年1月21日（土）、市史跡光善寺（出口御坊跡）で消防訓練を、1月23日（月）に指定文化財が所在する市内各所で立入検査を実施しました。訓練は枚方寝屋川消防組合・枚方市消防団と連携して3年ぶりに行うこととなり、当日は180名ほどの参加がありました。この消防訓練の特色は、重要である有形文化財の救出訓練を重視していることです。当日は有形文化財に擬した代替品を用い、実際の搬出経路の確認を行いました。この他、初期消火や通報訓練、放水訓練等を行い、特に放水訓練が始まると見学された方から歓声があがりました。訓練終了後に実施した、ミニ消防車の乗車体験、放水体験、防火服の着用等の催しは大いに賑わいをみせ、好評をいただきました。



放水訓練



立入検査の様子

また、立入検査では文化財所有者と消火器の確認等を行い、実際に有形文化財等を目視して、避難経路や持ち出す際の留意点等を確認しました。

市内には将来に継承すべき貴重な文化財が多数存在します。文化財は地域にお住まいの皆さまにとって心の支えや誇り、歴史であり、それがちょっとした不注意による火災等で失われてしまいます。今後も文化財保護を意識した消防訓練を行い、文化財関係者や消防関係者、そして地域全体に対して防火・防災体制の充実強化を呼びかけるとともに、文化財愛護に関する意識の高揚を図っていきたいと思います。

イベント  
開催予定

## お知らせ

イベント名	開催日
輝きプラザきらら展示ルームで開催します	
① 文化財展示会 「ひらかたの発掘・いまむかし」	4/12(水)～ R6/2/26(月)
中央図書館で開催します	
② 古文書入門講座(全5回)	6/5・12・19・26、 7/3(月)
旧田中家鋳物民俗資料館で開催します	
③ ちょこっと展「水とくらし」	4/22(土)～ 7/9(日)
④ 古文書講座 「枚方鋳物師田中家の古文書を読む」	5/19・26、 6/2・9(金)
⑤ 布ぞうり講習会	6月下旬(未定)

新型コロナウイルスにより中止・変更の可能性があります。  
詳細は「広報ひらかた」などをご覧ください。

### ◆百済寺跡出土埴仏 43点が府有形文化財に 追加指定されました

埴仏はタイル状の仏像で、特別史跡百済寺跡からの出土点数や種類は大阪府内でも突出しています。百済寺跡や仏教文化のあり方を知るうえで重要な資料であること、特に大型多尊埴仏は全国的にも貴重な資料であることが評価されました。

また、枚方市・交野市に所在する「交野節」が府無形民俗文化財(記録選択)に選択されました。



大型多尊埴仏  
(下絵は『夏見廃寺報告書』より)

総合文化芸術センター  
で開催しました

## 事業報告

旧田中家鋳物民俗資料館  
体験工房で開催しました

### ◆寺内町をテーマとした市民歴史講座を実施しました

#### 第1回：2/2(木)「寺内町の成立と変遷

一戦国時代大阪平野の経済発展とのかかわり」95人

講師：大阪公立大学大学院教授 仁木宏氏

寺内町についての基礎的な知識から、枚方寺内町の発展の経緯、戦国時代の東アジアにおける大坂と枚方の位置づけまで、幅広くお話しいただきました。

#### 第2回：2/13(月)「枚方寺内町の立地について」95人

講師：大山崎町歴史資料館館長 福島克彦氏

淀川舟運の成立と展開、枚方寺内町の形成や地名の由来、京街道の意義深さなどについて、お話しいただきました。

各講演とも参加者からは、「今までの寺内町のイメージが変わった」「枚方寺内町の成り立ちがよく理解でき、より興味があった」「枚方寺内町の貴重さ、良さを知ることができてうれしい」「地名の起りが寺内町にあることを知り、面白かった」などの感想をいただきました。

また、各講演後に枚方市長が文化財を巡る動画「プラタカシ第2弾 寺内町編」を上映しました。こちらはYou Tubeでもご覧いただけます。「第1弾 百済寺跡編」とあわせてご覧ください。



### ◆彫金連続講座「道具とアクセラリーづくり」

#### 1/28、2/4・11・18・25(土)のべ47人

正倉院の宝物や百済寺跡から出土した飾金具にも用いられている伝統的な彫金技術を学ぶ、連続5回の講座。現在消えようとしている技術を未来に継承していくため、かつては門外不出だった職人の技を、講師の真先友宏先生が参加者に丁寧に指導されました。

今回の参加者は初心者のみだったので、まず全員で金属に文様を刻むための鑿という道具を製作するところからスタートしました。ヤスリを使いながら、鑿を成形していきます。毛彫や蹴彫、魚笏子打を施すための鑿ができあがると、それらを使って、アクセラリーやプレートなどを作りました。

彫る技術だけでなく、道具を作る伝統的な技術も実は「無形の文化財」です。市民を対象として、こうした技術の継承に取り組んでいる施設は全国でもここだけか。資料館では今後も同様の講座を開催する予定です。興味をお持ちの方は、是非ご参加ください。



## 編集後記

「目玉焼き」には何をかける？スタジオジブリ公式Twitterで大論争が起きていたとは…。しょうゆ、ソース、マヨネーズ、塩コショウの4択で意見を募ったところ、約18万票もの回答があり、しょうゆが過半数を占めたとか。では、大阪の郷土食「お好み焼き」には何をかける？ソースはウスター、トンカツ、お好み焼き用？それともしょうゆ？ケチャップ、マヨネーズ、からし、一味・七味唐辛子に鰹節や青のり、青ネギはどうします？何もかけない素焼き派もいますよね。